2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社小田原機器　　上場取引所　東
コード番号　　7314　　ＵＲＬ　https://www.odawarakiki.com
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）津川　直樹
問合せ先責任者　（役職名）専務取締役管理部長　　（氏名）佐藤　健一　　ＴＥＬ　0465-23-0121

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	3,038	△40.5	△199	－	△220	－	△242	－
2025年12月期第３四半期	5,108	36.2	△188	－	△187	－	△222	－

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　△236百万円（－%）　2025年12月期第３四半期　△227百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	△76.17	－
2025年12月期第３四半期	△69.76	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	6,434	3,779	58.7
2025年12月期	7,296	4,156	57.0

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　3,779百万円　2025年12月期　4,156百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	40.00	40.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				40.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,962	△9.3	149	△3.9	135	△32.3	84	△12.6	26.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：有
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（注）詳細は、添付資料P.7「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更に関する注記）」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	3,230,300株	2025年12月期	3,201,300株
② 期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	44,618株	2025年12月期	3,957株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	3,178,698株	2025年12月期３Ｑ	3,184,747株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果などを背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢の長期化や物価上昇に伴うコスト増加がみられるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ製品の主要市場であるバス業界においては、旅客需要は堅調に推移する一方で、乗務員不足の深刻化による人件費の上昇や、燃料価格の高騰などにより、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のもとで当社グループは、基盤領域である運賃箱やキャッシュレスに対応したマルチ決済端末の需要取り込みに努めております。また、国土交通省の地域DX推進プロジェクト「COMmmmONS」における「SIMレスバス停システム開発プロジェクト」を受託し開発を進めるほか、UWB技術を活用した次世代バス運賃決済・認証システムの開発に取り組むなど、新たな価値提供に取り組んでおります。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は3,038,026千円（前年同四半期比40.5％減）、営業損失は199,462千円（前年同四半期は188,286千円の営業損失）、経常損失は220,750千円（前年同四半期は187,018千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は242,119千円（前年同四半期は222,172千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第３四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,205,939千円減少し、5,000,464千円となりました。これは主に、原材料が385,539千円、商品及び製品が259,068千円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,909,785千円減少したことによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて343,883千円増加し、1,433,695千円となりました。これは主に、土地が91,249千円、無形固定資産のその他が167,940千円増加したことによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて602,851千円減少し、2,255,749千円となりました。これは主に、電子記録債務が374,817千円、流動負債のその他が421,578千円減少したことによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて117,685千円増加し、398,697千円となりました。これは主に、長期借入金が118,000千円増加したことによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて376,890千円減少し、3,779,713千円となりました。これは主に、自己株式が46,367千円増加し、利益剰余金が370,012千円減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での2026年12月期の業績見通しにつきましては、2026年2月13日に決算短信で公表した内容から変更ありません。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,494,583	1,244,354
受取手形及び売掛金	2,353,762	443,977
電子記録債権	78,841	51,294
商品及び製品	42,254	301,322
仕掛品	1,356,720	1,551,047
原材料	750,092	1,135,632
その他	130,148	272,835
流動資産合計	6,206,404	5,000,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	266,118	343,625
機械装置及び運搬具（純額）	932	233
土地	379,971	471,220
その他（純額）	65,518	64,333
有形固定資産合計	712,540	879,412
無形固定資産		
のれん	15,813	11,069
その他	98,905	266,845
無形固定資産合計	114,718	277,915
投資その他の資産		
投資有価証券	166,169	177,992
繰延税金資産	40,069	41,706
その他	81,279	81,633
貸倒引当金	△24,965	△24,965
投資その他の資産合計	262,552	276,366
固定資産合計	1,089,812	1,433,695
資産合計	7,296,216	6,434,160

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	292,174	322,920
電子記録債務	374,817	－
短期借入金	1,300,000	1,480,000
１年内返済予定の長期借入金	12,000	25,000
未払法人税等	22,671	8,101
賞与引当金	48,825	110,127
製品保証引当金	125,618	65,584
受注損失引当金	16,901	－
その他	665,592	244,014
流動負債合計	2,858,600	2,255,749
固定負債		
長期借入金	7,000	125,000
役員退職慰労引当金	6,995	7,760
退職給付に係る負債	175,487	171,452
資産除去債務	20,013	20,078
繰延税金負債	20,031	24,001
その他	51,484	50,404
固定負債合計	281,011	398,697
負債合計	3,139,612	2,654,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	366,007	382,911
資本剰余金	346,007	362,911
利益剰余金	3,388,007	3,017,994
自己株式	△571	△46,938
株主資本合計	4,099,451	3,716,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,153	62,833
その他の包括利益累計額合計	57,153	62,833
純資産合計	4,156,604	3,779,713
負債純資産合計	7,296,216	6,434,160

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	5,108,975	3,038,026
売上原価	4,084,910	1,997,200
売上総利益	1,024,064	1,040,826
販売費及び一般管理費	1,212,350	1,240,289
営業損失（△）	△188,286	△199,462
営業外収益		
受取配当金	3,646	2,998
受取手数料	8,608	－
受取保険料	15,262	－
その他	712	784
営業外収益合計	28,229	3,782
営業外費用		
支払利息	21,702	19,839
支払手数料	4,993	4,993
その他	265	237
営業外費用合計	26,962	25,071
経常損失（△）	△187,018	△220,750
特別利益		
投資有価証券売却益	10,866	－
特別利益合計	10,866	－
特別損失		
固定資産除却損	0	35
お別れの会関連費用	10,770	－
特別損失合計	10,770	35
税金等調整前四半期純損失（△）	△186,922	△220,786
法人税等	35,250	21,332
四半期純損失（△）	△222,172	△242,119
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△222,172	△242,119

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純損失（△）	△222,172	△242,119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,874	5,680
その他の包括利益合計	△4,874	5,680
四半期包括利益	△227,047	△236,438
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△227,047	△236,438
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

（税金費用の計算方法の変更）

従来、税金費用については、原則的な方法により計算しておりましたが、四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第１四半期連結会計期間より（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）に記載の方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年２月13日開催の当社取締役会決議に基づき、自己株式39,800株を取得いたしました。これにより、自己株式が46,367千円増加しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	65,502千円	75,140千円
のれんの償却額	4,744千円	4,744千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）１
	運賃収受機器事業	システム開発事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,738,273	370,701	5,108,975	－	5,108,975
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	90,497	90,497	△90,497	－
計	4,738,273	461,199	5,199,473	△90,497	5,108,975
セグメント損失（△）	△232,438	△12,863	△245,302	57,015	△188,286

（注）１．セグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．セグメント損失（△）の調整額57,015千円は、主にセグメント間取引消去であります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）１
	運賃収受機器事業	システム開発事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,583,262	454,764	3,038,026	－	3,038,026
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	108,397	108,397	△108,397	－
計	2,583,262	563,161	3,146,424	△108,397	3,038,026
セグメント損失（△）	△206,017	△12,315	△218,333	18,870	△199,462

（注）１．セグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．セグメント損失（△）の調整額18,870千円は、主にセグメント間取引消去であります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。